

令和元年度 調査報告書作成等に係るアンケート調査票

今年度、令和元年度調査報告書を作成するにあたり、その内容等について、事前に各自治体のご意見をお伺いします。該当箇所にご記入いただき、欄が不足する場合は必要に応じて行を追加してください。また、回答は行政・研究者相談の上、自治体単位でお願いいたします。

自治体名（ ）

1 令和元年度調査の実施状況について

(1) 成分調査地点

本調査会議にデータ提供可能な調査地点について、地点名及び区分（一般・自排）をご回答ください。実際のデータ提供は7月中旬を予定し、提供に当たっては依頼文を発送いたします。

地点名	測定局名	区分
(記入例) 綾瀬	足立区綾瀬	一般

(2) 分析項目

測定していない（または提供不可）項目に×を入れて下さい。

【水溶性イオン成分】

Cl ⁻	NO ₃ ⁻	SO ₄ ²⁻	Na ⁺	NH ₄ ⁺	K ⁺	Mg ²⁺	Ca ²⁺

【無機元素成分】

Na	Al	Si*	K	Ca	Sc	Ti*	V	Cr	Mn*	Fe	Co*	Ni	Cu*	Zn
As	Se*	Rb*	Mo*	Sb	Cs*	Ba*	La*	Ce*	Sm*	Hf*	W*	Ta*	Th*	Pb

*：成分分析ガイドラインにおける実施推奨項目

【炭素成分・水溶性有機炭素成分】

OC1	OC2	OC3	OC4	OCpyro	EC1	EC2	EC3	WSOC

ガス状成分等、上記以外に提供可能な成分がありましたら、ご記入ください。

（ ）

2 令和元年度調査報告書等の分担について

原則として、以下の形での報告書作成を予定しています。

- ・第4章の「高濃度発生状況」における「詳細解析」については、近年は高濃度事象が減少傾向にあるため、例年より減らし、関東甲信静の複数の地域で PM2.5 日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超過した事象の中から、計2事例を選定する。ただし、発生状況に応じて事象数を削減する。

例年記載している「高濃度事象のまとめ」については、高濃度解析の項目自体が少ないことから、行わないこととする。

(1) 分担について

各自治体に報告書の一部執筆や光化学オキシダント調査事業をお願いしますが、希望する分担があれば、第1希望(①)～第3希望(③)までご記入ください。特に希望がなければ空欄のままで結構です。

本 編		希望欄	資料編	希望欄
1	はじめに		1 試料採取要領	
2	調査方法		2 測定方法及び検出下限・定量下限	
3 各季節の概況	各季節の気象概況		3 調査地点の概況	
	3.1～3.4 春季～冬季のいずれか		4 気象要素の測定地点	本編3章 気象概況 担当者
	3.5 四季の比較			
4 高濃度発生状況	4.1 高濃度日出現状況		5 年間高濃度事象解析の対象地点	本編4.1 担当者
	4.2、4.3 高濃度事象の詳細解析 (2事例のいずれか。実際の発生状況 に応じて事例数を削減。)		6 精度管理結果	前年度 幹事県
			7 調査結果の発表及び投稿一覧	
5	発生源寄与の推定			
6	総括			

光化学オキシダント調査事業	希望欄
解析調査 Ox の濃度分布(平均濃度・高濃度時)、階級別 Ox 濃度の経年推移、NMHC・NOx の濃度分布(地点別・経年推移)など	

※斜線部分は事務局である東京都が執筆担当する箇所です。

※光化学オキシダント調査事業につきましてはⅡ型共同研究の参加自治体を中心にご協力いただけますと幸いです。

(2) 考慮を要する事項について

報告書の執筆や光化学オキシダント調査事業の担当を決める上で、考慮が必要な点等ありましたら、ご記入ください。

例) 担当者が今年度替わり、解析等のための知識・ノウハウが不足している

(3) 令和元年度調査報告書についてご意見等ありましたら、ご記入ください。

3 その他

調査会議全体を通じてご意見・ご要望等ありましたら、ご記入ください

以上、お忙しい中ご協力ありがとうございました。